よろこび

日蓮宗 聞聖会

本山 妙顕寺
長音山 本覚寺

『日蓮聖人との対話』四（感応対談）

貫首 齊藤 日軌

（問者）日蓮聖人さま南無妙法蓮華経と唱え本仏のこころにかえり南無妙法蓮華経と唱え仏の振る舞いをしようとのことですが、南無妙法蓮華経と唱えるだけで仏様のような心になり、本当に仏様のような行いが出来るのでしょうか？私には確信が持てません。今では世界中にお題目を唱える人がたくさんいます。それらの人の振る舞いを見るといろんな人がいると思うのですが。如何でしょう。

（日蓮聖人）南無妙法蓮華経と唱えると云う事は、本仏釈尊の因行果徳の二法を頂けるという事である。つまり釈尊の御魂を我が心に頂くとことである。此事の意味をよくよく理解し心から唱えねばならないのです。人の心は南無妙法蓮華経と唱えれば一念三千、自らの心は仏界につながり。仏と感応道交するのです。そして心地を仏識に持ち修行を日常意識にするのです。熱い信仰の情熱と修行は必要です。南無妙法蓮華経と唱えこの世を浄土にする具体的な努力あってこそ、神仏の守護があるのです。大気汚染、地殻変動、地震、大気汚染、二酸化炭素の増大、気温上昇それによる水位上昇等具体的な問題に対し南無妙法蓮華経と唱えそれらの問題解決のため不惜身命の努力をすべきなのです。

（問者）大聖人のお言葉は、理解できるのですが、世界には色々な国があり、自国の利益のため二酸化炭素減少の努力を怠る国、未だに覇権国家として他国の領土を侵害し、天然資源を簒奪しようとしたり、少数民族を百万人単位で虐殺したりする国があり、飢えに苦しむ民衆をないがしろにしミサイルを発射する国等があります。これでは地球環境の浄化どころか世界の平和、自国の安寧もままなりません。どうしたらよいのでしょう。

（日蓮聖人）我が日本国は、聖徳太子が法華経精神に体する政治を行い自ら法華経を講義し、法華義疏を著して法華経の精神で形成されているのです。法華経の精国は神は、インドから中国の天台大師、日本の伝教大師により我が国に伝えられました。その法華経有縁の日本国が法華一乗の菩薩国家仏国として、お題目の精神を世界の人々に伝え、世界の国々を菩薩国家にせねばならんのです。世界の国には泥棒のような国、他国の領土や特許を盗む国、殺生をする国、快楽にふける国等々があります。しかしこの世界は今燃えています。地球という大きな国は火事になって人々はそれに気がつかないでいつまでも球遊んでいる子供のようなものなのです。このままでは地球という家は燃え尽き人類は焼け死んでしまいます。早く人類を目覚めさせ覚醒させ世界の共栄共和を計らねばなりません。お題目により世界の人々国家を覚醒させ、仏の知見すなわち慈悲の心で世界の環境生物等を平等に見るの智慧の眼をひらかせねばならぬのです。

日蓮聖人のお言葉

南無妙法蓮華経で世界目覚めさせ
仏知見を開かせよう